

ケアマネ SAPPORO

2025.7発行 夏号

発行

一般社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1番地

第1水産ビル4F 北海道介護支援専門員協会 内

TEL 011-792-1811 / FAX 011-792-5140

『再編と融合』そして次のステージへ

～北海道介護支援専門員協会との合流～

一般社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会 会長
 居宅介護支援事業所 ら・せれな 管理者

長崎 亮一

会員の皆さまには、日頃より当会の活動に深いご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

去る令和7年5月24日(土)、無事に定時総会を終えることができ、令和7年度の事業がいよいよ本格的に始動いたしました。

さて、昨年度よりお知らせしてまいりました「北海道介護支援専門員協会との合流」につきまして、この1年間、丁寧な検討と協議を重ねてまいりました。そして本年度、いよいよ本格的に合流に向けた舵を切る運びとなりました。

札幌市介護支援専門員協議会としても、令和の時代を迎える中で様々な課題に直面してきました。そうした中で、一つひとつの課題に向き合いながら、最適な方向性を模索してまいりました。その結果、執行部として「合流」という決断に至った次第です。会員の皆さまの中には、この方針に対してご意見やご質問、ご懸念をお持ちの方もいらっしゃると思います。本巻頭では、合流に至った背景と主な課題についてご説明させていただきます。今後は各区を巡回して説明会を開催し、会員の皆さまとの対話を大切にしながら進めてまいります。

合流を決断するに至った主な背景

①会の運営体制と財政状況

当会の運営は、主に年会費(4,000円×会員数)によって支えられています。その他、ホームページ広告や研修に関わる補助金などの副収入はごくわずかです。

一方で、事務職員の人件費、事務所家賃、郵送

費、研修費など必要経費は年々増加し、年会費のみでは運営が困難な状況が続いておりました。令和2年度より、事務職員をパート化し、事務局を北海道協会内に移設、広報誌郵送の見直しなどにより支出削減に努めてまいりましたが、その反面、役員の業務負担が大きくなっており、持続可能な運営体制の再構築が急務となっております。

②人材不足と後継者育成の課題

現在、当会は市選出理事8名、区選出理事10名をはじめ、約120名の体制で運営されています。しかしながら、次世代を担う人材の確保・育成が思うように進まず、深刻な課題となっております。

③全国組織との接続欠如

本来、介護支援専門員の職能団体は、市区町村・都道府県・全国という三層構造で構築され、現場の声を国政に届ける仕組みが必要です。しかし、当会は独立組織であるため、日本介護支援専門員協会との連携がなく、札幌市の声を国に届ける手段がない状況です。

④情報共有と研修環境の変化

平成11年(1999年)の発足以来、当会はケアマネ同士の情報共有や研修機会の提供に努めてきましたが、現在はICTやSNSの普及、オンライン研修の一般化により、大きく環境が変化しています。こうした変化の中で、10年後、さらには2040年を見据え、広域的かつ柔軟な体制へと移行することが不可欠であると判断いたしました。

北海道介護支援専門員協会との 合流案の概要

昨年度の検討を経て、以下の方向性で合流を目指します。

1. 札幌ブロックとしての位置づけ

札幌市介護支援専門員連絡協議会は、北海道介護支援専門員協会内の「札幌ブロック」として位置づけられ、現在の各区支部活動は継続。運営費も確保され、事務的サポートは北海道協会職員（10名）と当会の事務員が担い、役員への費用弁済も保障されます。

2. 会費について

現行の北海道協会の年会費（8,000円：うち北海道3,000円、日本5,000円）のみで、当会の4,000円は徴収しない方針とします。札幌市介護支援専門員連絡協議会は解散とし、移行時の入会金も不要とする方向です。

3. 札幌市および関係団体との連携継続

札幌ブロックとして、これまで通り札幌市および関連職能団体との連携を維持・強化します。

4. 研修に関して

各区支部で開催される研修は、会員であれば無料で参加可能とする予定です。

5. その他

その他、合流に伴う詳細事項についても慎重に検討を進めております。

最後に

このような状況を踏まえ、当会は「再編と融合」を通じて、より強固で持続可能な組織体制と広域的なネットワークを構築するため、北海道介護支援専門員協会との合流に向けた歩みを進めてまいります。

今後も、会員の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、対話を重ねながら進めてまいります。引き続き、温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

< 研修事業報告 >

札幌市の委託を受けまして、主任介護支援専門員を対象に「認知症施策の理解を深める」というテーマにて各区支部で開催しましたこと。また生駒市役所の田中氏を講師にお招きし、「介護予防ケアマネジメント研修」をテーマに札幌市全体研修を開催し、無事令和6年度のケアマネジメントリーダー活動支援事業の研修を終えたことを報告いたします。

令和7年度もケアマネジメントリーダー活動支援事業の研修を予定しております。詳細が決まりましたら、当協議会ホームページとLINE@にてお知らせいたしますので、ぜひご参加をお願いいたします。

< ご案内 >

福祉用具機器展inさっぽろ2025

来て・見て福祉用具の力を学ぶ
～誰もが快適に生活するために～

高齢者や障がいをお持ちの方々に、住み慣れた地域で安心安全に暮らしていただくため、生活に役立つ「福祉用具」をもっと身近なものとして知ることを目的としたイベントで、昨年は1,000名以上の来場がありました。全国から集まる福祉用具の展示はもちろんのこと、介護・福祉に関する各種セミナーも開催予定で、福祉・介護専門職の皆さんに役立つ内容が盛りだくさんです！沢山の方のお越しをお待ちしております！

【日 時】

- ・令和7年11月13日（木）10:00～16:30
- ・令和7年11月14日（金）9:30～15:00

【会 場】

札幌市社会福祉総合センター
（札幌市中央区大通西19丁目）

< 問合せ先 >

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 総務課
TEL 614-3345

（イベント内容はホームページで！）

<https://www.sapporo-shakyo.or.jp/>